

5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第2時(9時間取り扱い)

どんな平行四辺形の面積も
公式が使えることがわかる!

本時の授業の概要

前時の学習をもとに、平行四辺形の面積を求める公式を作る。長方形に等積変形した図をもとに立式したそれぞれの数値が、平行四辺形のどの部分になるのかを捉えさせ公式を作る。さらに公式を活用し面積を求められるようになることをめざす

本時の目標

平行四辺形の求積の公式を理解しそれを適用して面積を求めることができる。

活用場面

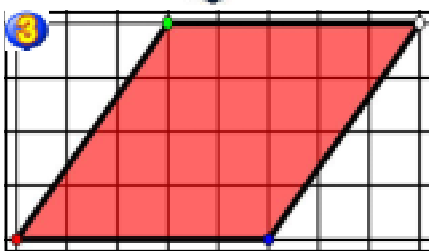
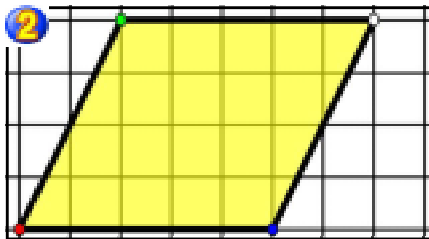
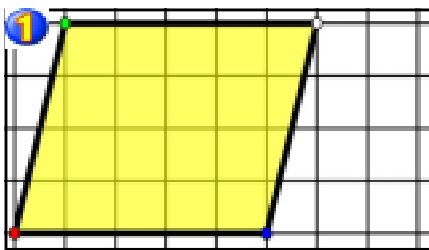
課題発見

見通し

一般化

まとめ

習熟



平行四辺形の面積を求める公式を確認する。

① T：平行四辺形の面積は、どんな公式で求めることができましたか。

C：底辺×高さ

T：どんな平行四辺形も公式をつかって面積を求めることができるのでしょうか。

新しい平行四辺形を提示し、別の平行四辺形でも公式を使って面積を求められることに気づく。

②③ T：この平行四辺形でも公式を使って面積を求めることができますか。

C：少し違う平行四辺形に見えるけれども・・・

C：どんなに平行四辺形も、でっぴりの部分を縦に切って移動すると長方形になるのだから、公式が使える。

C：他の方法でも、公式が使えることが言える。

T：みんなで考えた公式はどんな平行四辺形でも使えますね。

【ワンポイントアドバイス】

別の平行四辺形を提示することにより、どんな平行四辺形でも公式を使って求められることをおさえる。あわせて底辺と高さの位置関係の定着も図りたい。

底辺と高さの大きさが変わらなければ、形が変わっても平行四辺形の面積が変わらないことにも気づかせたい。

【サイト情報】

<http://www.mowmowmow.com/math/flash/s5/hei4hen.html>

「Mow Mow Mowの部屋」

